

第3回 NanoTerasuセンター セミナー

- タイトル** 英国放射光施設Diamond Light Sourceと
現地生活の紹介
- 講師** NanoTerasuセンター 基盤技術グループ 竹内章博
- 開催日時** 2025年10月29日 15:00-16:00
- 開催場所** Teams会議
ID: 496 483 457 539 5
パスコード: 2xA985GF

概要

QSTの海外研修員派遣制度を利用して、2025年2月から1年間の予定でイギリスの放射光施設Diamond Light Source(DLS)で軟X線検出器開発の研修を行っている。DLSはオックスフォードシャー州ハーウェルキャンパスに位置し、2007年に運転を開始したイギリス唯一の放射光施設である。NanoTerasuと比較すると、蓄積リング棟の大きさは約2倍で、ビームラインは約3倍の数が稼働している。DLSは政府系研究資金助成機関と民間の慈善研究財団による出資で設立された株主会社により運営されている。職員は世界43か国以上から800名以上が雇用され、研究者だけでなく、技術者、技術員、事務・管理部門、財務、人事、調達、安全衛生、情報システム、広報、法務など多くの専門部署が組織的に連携して施設を支えている。DLSの組織は、5つの大枠に部門が分かれており、その下に約50の部署(グループ)が存在する。十分なマンパワーが確保され、安定した施設の運用と効率的な業務遂行を実現している。DLSでの勤務制度として、フレックスタイム制が導入されており、標準勤務時間9時-17時(週37時間勤務)を中心に、前後で出退勤時刻を調整でき、一定の範囲内で余剰勤務時間が貯蓄でき、休暇として消化することが可能である。付与される有給休暇は年間26日で、会社の休日が5日間ある。イギリスの祝日は年間8日と日本より少ない。その他にも多岐にわたる部署の仕事内容を聞き取り、調査した。本セミナーではDLSにおける仕事環境について紹介する。

さらにイギリスでの生活面について、住居や交通、食文化、休日の過ごし方など、現地の文化や社会背景の体験を通じて紹介する。キャッシュレス決済が普及しており、ほぼ日常生活において現金は必要ない。物価は日本より高く、特に家賃と光熱費の比重が大きい。医療費は国民医療制度により基本的に無料である。外食は明らかに日本と比較すると高い。せっかくの海外生活の機会であるため値段は気にせず、文化の違いを楽しむことも含めて現地生活を積極的に体験している。DLSから最寄りの大きな都市のオックスフォードは歴史的建造物が多く、美しい街並みである。ロンドンまでも鉄道で1時間で行くことができる。自然や歴史ある文化に囲まれた落ち着いた生活環境である。

本セミナーを通じて、DLSにおける多彩な職種・専門分野の連携と、豊富な人員を生かした組織運営の在り方、そして異文化での日常生活を共有し、国際的な視野を広げ今後の業務に役立てることができれば幸いである。



<https://www.qst.go.jp/site/nt-center/>

